

形式

NR-24H-1

耐雷強化用

用途

DC 4~20 mA 電流信号など

性能

公称回路電圧	24V DC
最大回路電圧	38V DC
動作開始電圧	線間 47V DC (42~52V)
	線接地間 1100~2000V インパルス電圧
サージ電流耐量	線接地間 20,000A (8/20μs)
	応答時間 4ns
漏れ電流	線間 5μA以下
	線接地間 ゼロ
静電容量 (参考値)	線間 1400pF
	線接地間 1.5~10pF
ライン抵抗	約6Ω (往復2線にて)
最大負荷電流	100mA

特長

- ・世界初のモリブデン素子を採用
- ・超高速応答時間4ナノ秒 (4×10^{-9} Sec)
- ・自復作用
- ・極微小静電容量1.5~10pF
- ・超低抵抗 (約ゼロΩ)
- ・超高速弁作用 (0.03μs)
- ・サージ電流耐量20,000A以上
- ・無続流ですから、動作時電圧変動に影響を受けやすい精密機器の保護などに最適です。

設置仕様

使用温度範囲: -5~+60℃

仕様湿度範囲: 5~90%RH以下 (結露しないこと)

取付: DINレール取付

パネル直付用DINレール (長さ50mm) 付属

寸法: W50×H75×D39

重量: 約110g

機器仕様

構造: 単体 DINレール取付 (標準)

接続方式: ねじ端子接続 角座金付M3×8

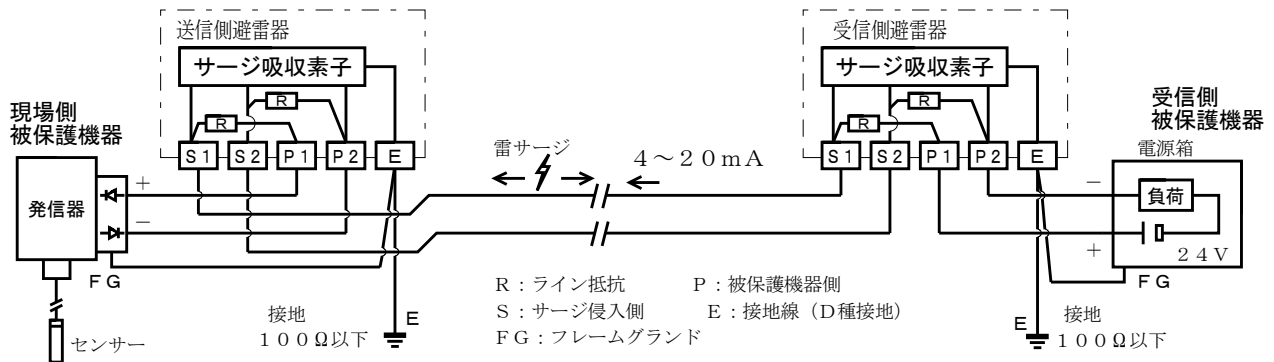
端子ねじ材質: 鉄にニッケルめっき

ハウジング材質: プラスチック 黒色

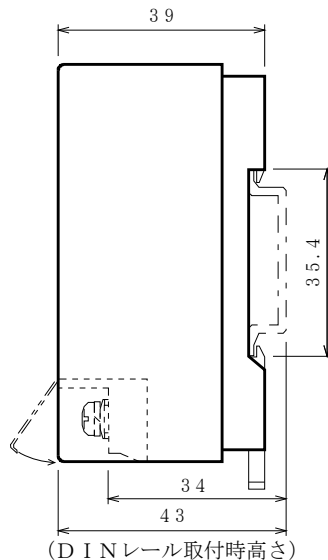
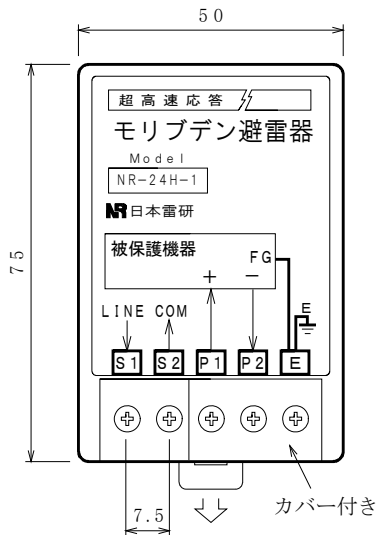
付属品

DINレール (W35mm×L50mm) 1本

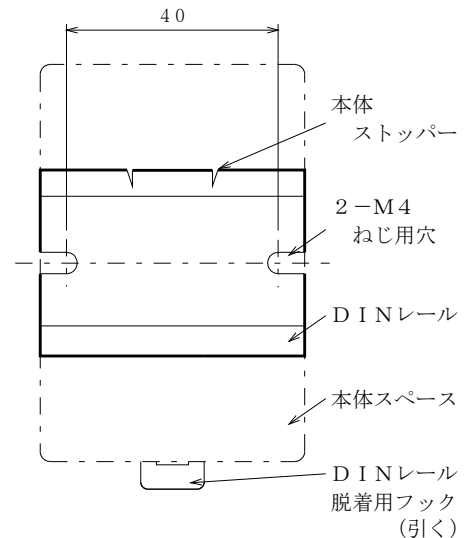
接続例



外形寸法図 (単位: mm)



取付穴寸法

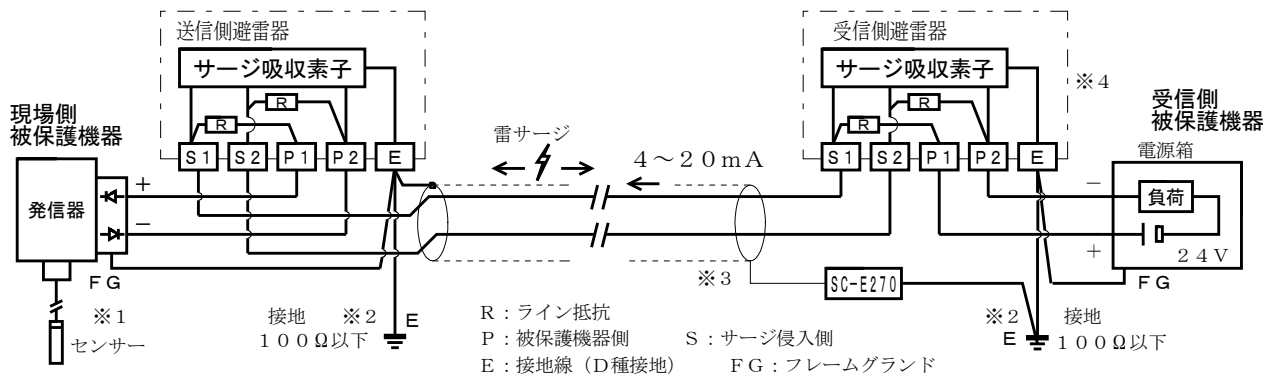


本器は、DC 4～20mAの計装信号の屋外ケーブルを通過してきた誘導雷サージを吸収し、計装計測機器などを保護する、電流信号用モリブデン避雷器です。

■ 取付方法

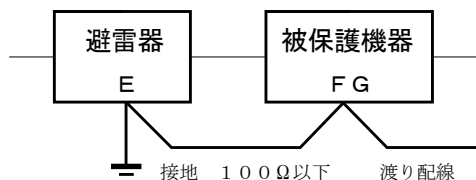
DINレールのストッパーに本体底部を取り付け、下部のフックで固定してください。

■ 接続例



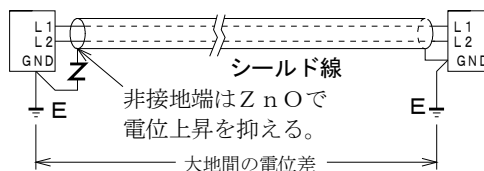
- ※1 被保護機器にアース端子、又はフレームグラウンド端子 (FG) のない場合は、避雷器のみ接地をおこなってください。
- ※2 E: D種接地 (100Ω以下) の他、C種接地 (10Ω以下) の場合がありますが送信側と受信側と同じにしてください。
- ※3 予備線やシールド非接地端の対策もご検討をお願いします。誘導雷対策としては両端接地が最適ですが、現場によりできない場合があります。シールド用避雷器SC-E270で非接地端の電位が上がらないようにすることをお勧め致します。
- ※4 受信計器側にもモリブデン避雷器を取り付けることをお勧め致します。

■ 効果的な渡り配線



被保護機器のフレームグラウンド端子を避雷器の接地端子Eに接続してから接地施工をおこなってください。

■ 効果的なシールド端対策



■ 使用上の注意事項

- 1) **絶縁抵抗試験はおこなわないでください。** 直流印加により被膜の復元ができなくなり劣化します。
- 2) 耐電圧試験時には、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、関係先の了承を得て避雷器の接地端子接続線を取りはずしてください。
- 3) 接地工事はD種接地 (100Ω以下) にて必ずおこなってください。接地線は2mm²以上を使用して、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けてください。

■ 定期点検の方法

規定などにより電気試験をご要望の場合は、メーカーで試験を致します。

- ・JIS規格による直流電圧を印加して1mA時の電圧を見る方法は、おこなわないでください。モリブデン素子の試験は性質上、直流インパルス電圧もしくは交流電圧による方法となります。
- ・避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。
- ・わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- ・ネジの緩みや接地抵抗値のチェックも雷害対策の重要な点検項目です、必ずおこなってください。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。